発達障害者の就労支援における専門性の検討
－就労アセスメントを中心に－

○ 梅永　雄二（早稲田大学 教育・総合科学学術院　教授）

１　発達障害者の就労における課題

(1)発達障害者側の課題

(ｱ)ASD者の課題

(ｲ)SLD者の課題

(ｳ)ADHD者の課題

(2)企業側の課題

(3)支援者側の課題

２　発達障害者に対する具体的支援

(1) 発達障害者の特性理解

発達障害者に特化した専門的合理的配慮の提言

(2) 発達障害者に特化した就労支援アセスメント

ソフトスキルのアセスメント

３　TTAP、ESPIDD、BWAP2

(1)TTAP

職業スキル、職業行動、自立機能、余暇、機能的コミュニケーション、対人行動、移動、環境要因

(2)ESPIDD

健康管理、上司への援助要求、気分の切り替え

(3)BWAP2

仕事の習慣態度、対人関係、認知能力、仕事の遂行能力

４　発達障害者の就労支援者に対する専門性の研修

- ソフトスキルのベースとなるライフスキル

(1) セルフケアスキル
衛生面、身だしなみ
(2) 時間管理スキル
遅刻、昼休み
(3) 金銭管理スキル
買い物、ローン、同僚との貸し借り
(4) 移動スキル
目的地までの移動
(5) コミュニケーションスキル
文字やメール
(6) 余暇スキル
昼休みの過ごし方

可能であればさらに6つのスキル

(1)対人関係スキル
職場のマナーやルール
(2)自己抑制スキル
マインドフルネス、アンガーマネージメント
(3)健康管理スキル
食事管理、体調不良報告
(4)感覚刺激対処スキル
視覚刺激、聴覚刺激、嗅覚刺激
(5)日常行動スキル
整理整頓、予定の変更
(6)危機管理スキル
SNSによるトラブル、性の問題、非行・犯罪